

2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月9日

上場会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング 上場取引所 東
 コード番号 2418 URL <https://www.tsukada-global.holdings>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 山崎誠広 (TEL) 03-5464-0081
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	15,842	18.0	1,301	74.1	532	△60.3	275	△72.4
2024年12月期第1四半期	13,428	9.6	747	—	1,342	—	1,000	—

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 △360百万円(—%) 2024年12月期第1四半期 1,183百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年12月期第1四半期	円 銭 5.80	円 銭 —
2024年12月期第1四半期	20.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	109,979	33,216	28.7
2024年12月期	111,711	34,030	28.9

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 31,549百万円 2024年12月期 32,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	5.00	—	6.00	11.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,778	18.3	3,086	32.4	2,527	△23.2	1,596	△47.4	33.47
通期	70,954	11.7	8,800	18.8	7,869	1.9	5,268	2.3	110.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期1Q	48,960,000株	2024年12月期	48,960,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期1Q	1,556,534株	2024年12月期	1,259,834株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期1Q	47,527,133株	2024年12月期1Q	47,700,166株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	10
3. 補足情報	10
(施行及び受注の状況)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や底堅い設備投資、また、雇用・所得環境の改善による消費者マインドに持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調が継続しております。しかしながら、米国の通商政策等の影響による景気の下振れリスクの高まりや高いボラティリティーで推移する外国為替市場など、先行きについては不透明な状況が継続しております。

このような環境の中、当社グループはブライダル市場、ホテル市場及びウェルネス&リラクゼーション(W&R)市場における新たな価値の創造、高品質かつ魅力あふれる店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に取り組み、多様化するお客様のニーズに的確に対応することで、売上高の拡大と収益性の向上に努めてまいりました。

ホテル事業においては、訪日外国人数が2025年3月推計値で累計10百万人(前年同四半期比23.1%増:日本政府観光局「訪日外客数(2025年3月推計値)」)と過去最高を更新するなど、引き続き高い水準で推移しております。これらの影響から「ホテル インターコンチネンタル 東京ベイ」(東京都港区)をはじめとする国内ラグジュアリーホテルについては、総じて安定した状況で推移いたしました。また、昨年取得いたしました「Kaimana Beach Hotel」(米国ハワイ州)及び「Kimpton Palladian Hotel」(米国ワシントン州)につきましては、更なるコストコントロールを実施し収益力向上に努めると共に、国内5施設目となる「ANAホリデイ・イン東京ベイ」(東京都品川区)の開業準備に注力いたしました。

婚礼事業においては、受注件数が3,485組(同12.3%増)と堅調に推移し、回復が遅れておりました施行単価についても引き続き緩やかに回復しております。しかしながら、高いボラティリティーの円・ドル相場の影響から日本人の海外渡航者数の戻りの遅れにより、海外挙式の一部においては引き続き厳しい状況が継続しております。また、W&R事業においては、昨年実施いたしました不採算店舗の退店等により収益が安定し、黒字体質の顕在化を図ることができました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、15,842百万円(同18.0%増)となり、利益面につきましては、営業利益1,301百万円(同74.1%増)、営業外費用において、急激な為替変動の影響により為替差損が560百万円の計上となったことから、経常利益は532百万円(同60.3%減)、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は275百万円(同72.4%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

当第1四半期連結累計期間においては、婚礼施行件数が2,028件(同5.7%増)と微増となり、婚礼施行単価についても緩やかに回復していることから売上高は増加いたしました。利益面においては、エネルギーコスト、仕入外注費を含む原材料価格の上昇を婚礼施行単価の回復が吸収し増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は8,410百万円(同13.0%増)、セグメント利益は980百万円(同83.5%増)となりました。

② ホテル事業

当第1四半期連結累計期間においては、ホテル婚礼施行件数が374件(同5.3%減)と微減となりましたが、過去最高を記録する訪日外国人数の影響から宿泊稼働率及び宿泊単価が堅調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は6,695百万円(同27.5%増)、セグメント利益は782百万円(同15.6%増)となりました。

③ W&R事業

当第1四半期連結累計期間においては、複合温浴施設「美楽温泉SPA-HERBS」が来館者数及び飲食売上高が過去最高となったことにより、昨年不採算店舗の退店を進めた英国式リフレクソロジーサロン「クイーンズウェイ」の売上高減少を補い、売上高及びセグメント利益ともに前年同四半期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は736百万円(同0.2%増)、セグメント利益は54百万円(同224.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ1,732百万円減少して、109,979百万円となりました。これは主に、為替変動及び減価償却により建物及び構築物が938百万円、土地が557百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ917百万円減少して、76,763百万円となりました。これは主に、納税により未払法人税等が903百万円、返済により長期借入金（1年内含む）が392百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産総額は、前連結会計年度末に比べ814百万円減少して、33,216百万円となりました。これは主に、為替変動の影響により為替換算調整勘定が666百万円の減少、また、取締役会決議に基づく自己株式の取得により自己株式が167百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は28.7%となり前連結会計年度末に比べ0.2ポイント減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年2月12日付け「2024年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合は、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,182	21,026
売掛金	2,040	1,721
商品	181	179
原材料及び貯蔵品	483	440
その他	2,454	2,392
貸倒引当金	△27	△45
流動資産合計	26,315	25,715
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,790	32,852
土地	29,036	28,479
建設仮勘定	622	1,068
その他(純額)	2,142	2,256
有形固定資産合計	65,592	64,655
無形固定資産		
のれん	789	723
その他	658	680
無形固定資産合計	1,448	1,403
投資その他の資産		
投資有価証券	4,673	4,291
関係会社出資金	1,188	1,262
敷金及び保証金	6,898	6,896
その他	5,603	5,760
貸倒引当金	△141	△134
投資その他の資産合計	18,221	18,075
固定資産合計	85,262	84,134
繰延資産	133	129
資産合計	111,711	109,979

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,498	2,456
1年内返済予定の長期借入金	8,513	10,863
1年内償還予定の社債	694	694
未払法人税等	1,105	201
前受金	3,616	4,259
その他	4,448	4,296
流動負債合計	20,877	22,771
固定負債		
社債	4,014	3,884
長期借入金	46,183	43,440
退職給付に係る負債	441	445
役員退職慰労引当金	1,053	1,064
資産除去債務	4,578	4,641
その他	531	514
固定負債合計	56,803	53,991
負債合計	77,680	76,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	31,064	31,053
自己株式	△892	△1,060
株主資本合計	31,277	31,099
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	305	467
為替換算調整勘定	648	△18
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	954	449
非支配株主持分	1,798	1,666
純資産合計	34,030	33,216
負債純資産合計	111,711	109,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	13,428	15,842
売上原価	8,448	9,668
売上総利益	4,980	6,173
販売費及び一般管理費	4,232	4,872
営業利益	747	1,301
営業外収益		
受取利息	61	29
匿名組合投資利益	74	74
為替差益	612	-
その他	41	177
営業外収益合計	790	281
営業外費用		
支払利息	138	258
持分法による投資損失	33	-
為替差損	-	560
その他	23	232
営業外費用合計	195	1,050
経常利益	1,342	532
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	0	1
店舗閉鎖損失	6	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	4	89
その他	20	-
特別損失合計	33	91
税金等調整前四半期純利益	1,308	440
法人税等	306	202
四半期純利益	1,001	238
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△37
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,000	275

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	1,001	238
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	19	161
為替換算調整勘定	50	△760
退職給付に係る調整額	0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	111	-
その他の包括利益合計	181	△598
四半期包括利益	1,183	△360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,166	△229
非支配株主に係る四半期包括利益	16	△131

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	825百万円	865百万円
のれんの償却額	54	66

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	7,427	5,251	735	13,413	—	13,413
その他の収益	14	—	—	14	—	14
外部顧客への売上高	7,442	5,251	735	13,428	—	13,428
セグメント間の 内部売上高又は振替高	487	229	2	719	△719	—
計	7,929	5,480	737	14,147	△719	13,428
セグメント利益	534	676	16	1,227	△480	747

(注) 1. セグメント利益の調整額△480百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△485百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	8,384	6,695	736	15,817	—	15,817
その他の収益	25	—	—	25	—	25
外部顧客への売上高	8,410	6,695	736	15,842	—	15,842
セグメント間の 内部売上高又は振替高	274	217	2	493	△493	—
計	8,684	6,912	738	16,336	△493	15,842
セグメント利益	980	782	54	1,817	△515	1,301

(注) 1. セグメント利益の調整額△515百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△528百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

3. 補足情報

(施行及び受注の状況)

(1) 婚礼施行実績

期別	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
婚礼事業	1,918	2,028	9,404
ホテル事業	395	374	1,641
合計	2,313	2,402	11,045

(2) 婚礼受注状況

期別	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)		前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	
	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)
婚礼事業	3,104	6,717	3,485	7,631	10,047	6,174
ホテル事業	528	1,244	605	1,415	1,714	1,184
合計	3,632	7,961	4,090	9,046	11,761	7,358